

今井だより

つよく たくしく あたたかく
笠岡市立今井小学校 学校だより

学校教育目標
『心豊かで、
自らを伸ばす
児童の育成』



(『今井だより』は、学校のホームページからご覧いただけます。)

第9号 令和3年12月3日

令和3年度今井小学校学芸会開催



4年「からすのかん三郎」



1年「にんじんさんがあかいわけ」



2・3年「スイミー」



5年「エルコスの祈り」



6年「時をかける少年」

11月20日(土)、学芸会を開催しました。感染症対策のため、観客を「関係ご家族」に限定させていただき、しかも1学級の演技が終わるたびに皆さんにいったん退出していただく等の運営をしました。2年ぶりの学芸会を楽しみにされていた地域の皆様をはじめ、多くの方々にご観覧いただくことができず、大変申し訳なく思っております。にもかかわらず、皆様にはご協力・ご理解をいただきました。改めまして、心より御礼申し上げます。

子供たちが決めたテーマ「輝く演技と友情で 希望をつかみ 届け！ 最高の思い出へ」に基づいて、42人は立派に演技をしました。一人一人の成長も大変頼もしいものでしたが、何よりもめあてに向かって心を合わせて練習を重ねやり遂げたことにより、高い達成感が得られ学級の結束力も一段と強まりました。大変有意義な機会となりました。

6年生が終了後に書いた作文のごく一部を抜粋（一部加筆）し、掲載します。限られた紙面につき、全学年の紹介ができないことはご容赦いただきながら、充実した学芸会の一端を感じていただければ幸いです。

- ・私は1年から4年までは「劇が終わったな、楽しかったな、来年はどんな劇をするんだろうな、家に帰ったらみんな何ていうかな。」など、ふわふわしたことを考えていましたけれど、今年はいつもとは違い、なんかやりきれて嬉しいような、最後で悲しいような、最後の劇でしか味わえないような感覚でした。今もその感覚が心に残っています。
- ・(自分の劇が始まると) これでもかというほど緊張と不安が押し寄せてきた。でもクラスの皆が頑張る姿を見て、私も頑張らないと。1人でも気を抜いていたら、劇のレベルが段々下がってしまう…と思い、最後まで気が抜けない良い緊張感の中で劇が行えたのではないかと思った。
- ・僕がこの学芸会で気がつけたことは、「役になりきる」ということです。なぜなら、イジメ自体をアニメや漫画などでしか見たことがなく、いまいちこうしたら「悪」に見えるだろう、ということがぱっと頭に浮かばなかったからです。そのために、「軽い感じでやったらあまり悪に見えないのではないだろうか」、「あまり重くし過ぎたら悪には見えるかもしれないが、自分の方が本当にイジメているみたいに感じて嫌になりそうだなー」などなど、もしも自分がお客さんだったら見ていてどう思うか、自分のことだけではなく相手のことも考えながら「役になりきる」ことに気をつけました。その結果、役になりきって、劇に集中することが出来ました。